

# 銘柄米生産情報

会津若松市・磐梯町・猪苗代町・  
JA会津よつば（あいづ地区）・福島県会津農林事務所農業振興普及部  
福島県農業共済組合会津支所・全農福島県本部

## 多様で競争力のある水田農業を構築しましょう！

### 麦・大豆等高収益作物や加工用米・輸出用米への転換を！

4月2～3半旬に高温があり出芽が進んだものの、播種はおおむね平年並みに行われました。  
育苗期間は寒暖差が激しく、生育の不揃いなどがみられました。  
苗立枯病やもみ枯細菌病などの病害は、育苗後半で発生がみられました。

#### 東北地方1か月予報 <仙台管区气象台 R4.5.12 発表>

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)

【気温】東北地方	30	30	40
【降水量】東北地方	30	40	30
【日照時間】東北地方	30	40	30

凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

天気は数日の周期で変わるでしょう。  
気温は、平年並の確率50%です。

#### 田植え時のポイント

- ・低温、強風時には、田植えは行わないようにしましょう。
- ・品種や地域に応じた適正な栽植密度に設定しましょう。
- ・一株当たりの植え付け本数と植え付けの深さに気をつけましょう。

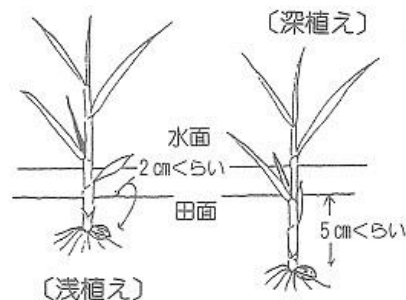
【植え付け本数】・・・ 一株あたり3～4本

本数が多いと過繁茂になり、細い茎になりやすくなります。

【植え付け深さ】・・・ 2～3cm程度

植え付けの深さが浅いと浮き苗となり欠株となったり、  
除草剤の薬害が発生しやすくなります。

植え付けが深いと、下位の分げつ芽が休眠し、分げつが少なくなります。



#### 田植え直後の水管理

##### 【活着期、分げつ期】

活着期 : 稲体を保護するため、3～5cmのやや深水管理を行います。

分げつ期: 活着後は2～3cmの浅水管理で分げつを促します。（低温や強風時は深水管理）

##### 【状況に応じた水管理】

- ◆除草剤処理前は田面にしっかりと水を張り、処理後は7日間水を止め、自然減水で田面が露出しそうなときは、緩やかに入水しましょう。
- ◆極端な低温や強風時は、深水にしてイネを保護しましょう。
- ◆ガスわきが起こった時は、水の入れ替えによりガス抜きをしましょう。

斑点米の原因となるカメムシは、主にイネ科雑草の周辺で越冬しています。カメムシ類の発生を減らすために、田植え後、畦畔の草刈りを行いましょ。

## 雑草対策

- ◆残った雑草の種類や量に応じて、中・後期剤により追加防除を行いましょ。 (表参照)
- ◆雑草イネの発生を確認したら、抜き取り作業を行ってください。
- ◆風が強い時は、薬剤が風下に流れ均一に広がりにくく、ドリフトや薬害も発生しやすくなります。ある程度、風がおさまってから薬剤を散布しましょう。
- ◆農薬を使用する際は、最新の農薬登録情報を必ず確認し、使用基準を守ってください。また、農薬を使用したら、必ず記帳しましょう。

表 中期除草剤等の例

適用雑草	使用時期	薬剤名	成分数	使用方法
ノビエ	移植後15日～ヒ <sup>1</sup> E4葉期 (但し、収穫45日前まで)	ヒエクリーン1キロ粒剤	1	湛水散布
水田一年生雑草、 ホタルイ等	移植後15日～ヒ <sup>1</sup> E5葉期(イ <sup>1</sup> E4葉期以降) (但し、収穫60日前まで)	フォローアップ1キロ粒剤	2	
	移植後14日～ヒ <sup>1</sup> E4葉期 (但し、収穫60日前まで)	レプラス1キロ粒剤	4	
	移植後15日～ノビエ5葉期 (但し、収穫50日前まで)	クリンチャーバスME液剤	2	落水散布 またはごく 浅く湛水し て散布
一年生及び 多年生雑草	移植後15日～ノビエ6葉期 (但し、収穫50日前まで)	トドメバスMF液剤	2	
ホタルイ、オモダカ等 (イネ科を除く)	移植後15日～55日 (但し、収穫60日前まで)	バサグラン粒剤 (ナトリウム塩)	1	
クサネム、イボクサ	移植後30日～ クサネムの草丈40cmまで イボクサの茎長30cmまで (但し、収穫60日前まで)	ノミニー液剤	1	

## 病虫害対策 (葉いもち、初期害虫等)

### 【箱処理剤による防除】

例) Dr. オリゼパディート粒剤 : 50g/箱 (緑化期～移植当日)

ルーチンアドスピノ箱粒剤 : 50g/箱 (は種時 (覆土前)～移植当日)

- ◆田植え後に余った苗は土中に埋めるなどして、早めに処分しましょう。  
水田内の置き苗はいもち病の発生源となります！補植が終わったら速やかに処分しましょう！

## 鳥獣害対策

- ◆被害対策の第一歩は、まず野生鳥獣のことを正確に知り、ほ場周辺の痕跡を見逃さないことです。問い合わせは会津農林事務所 (TEL0242-29-5308) まで！

## 春の農作業安全運動展開中(4/1～5/31)!

県内では、例年5月から熱中症の発生がみられています。  
熱中症対策を徹底し、安全・安心な農作業を実践しましょう！

### ◆主な熱中症対策◆

- 気温の高い時間帯や、体調がすぐれないときは作業を行わない。
- 作業は複数で行い、お互いの体調変化に気をつける。
- 一人で作業を行うときは家族や周囲の人に伝えてから行う。
- 通気性の良い服装で作業し、帽子は必ずかぶる。
- こまめな休憩を取る (1時間に1回、10分を目安に)
- 1時間に500mlのペットボトル半分以上の水分を少しずつ飲む。